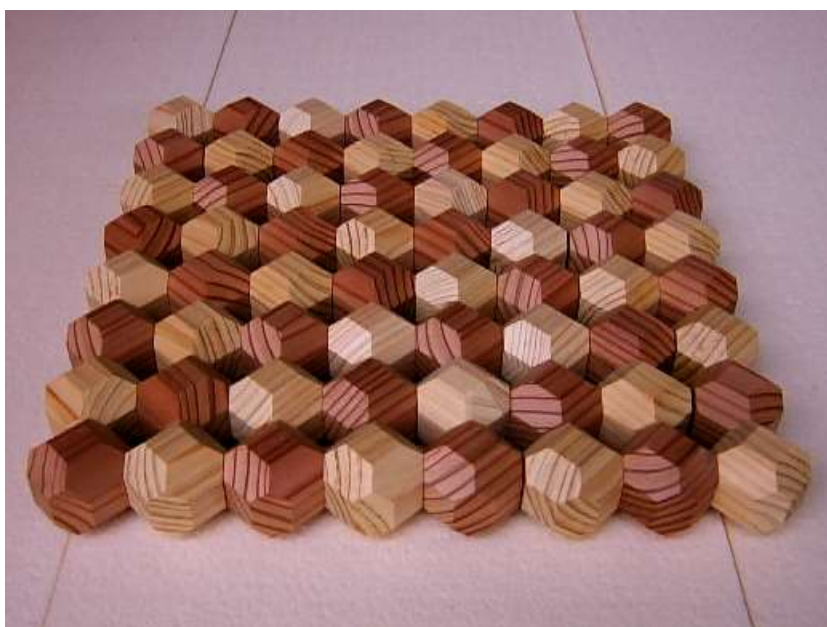
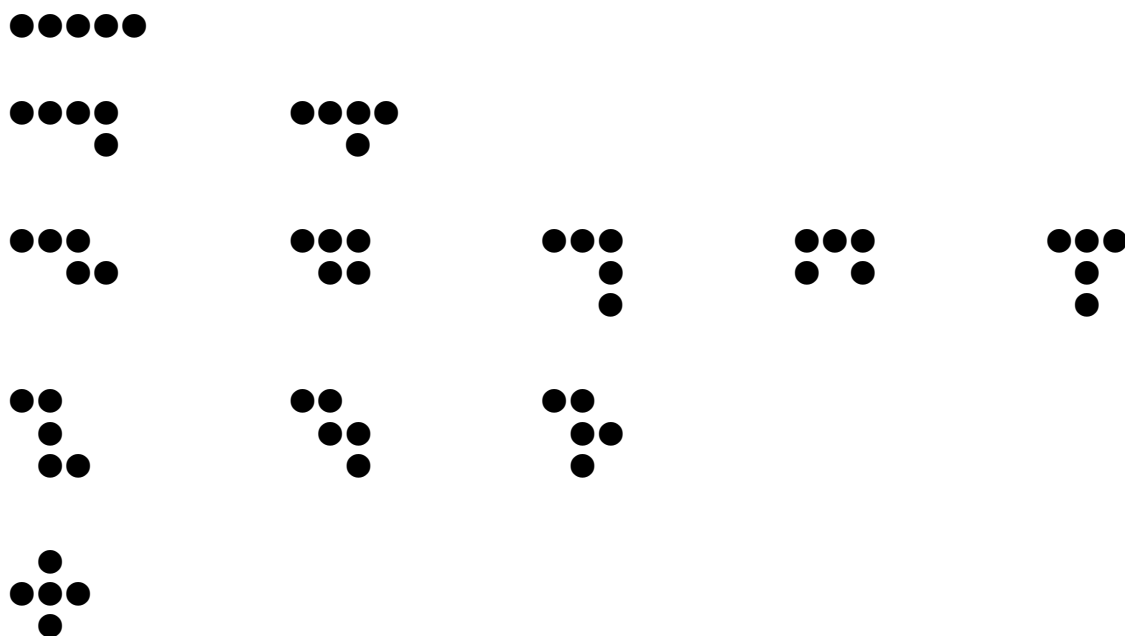


カンタベリーパズル No.74

カンタベリーパズル74番のチェスボードパズルは、じつに美しい名作と感じられたので、方眼紙ではなく切稜立方体で作ってみた。ひょっとすると、 8×8 の平面だけでなく、面白い立体パズルになるかもしれないと期待したからであった。

このパズルの美しさはなによりもそのピース構成にある。5個連結が12種類と、4個連結（田の字）がひとつからなっているが、色分けを無視した場合12種類の5個連結はすべての場合を尽くしているのだからである。

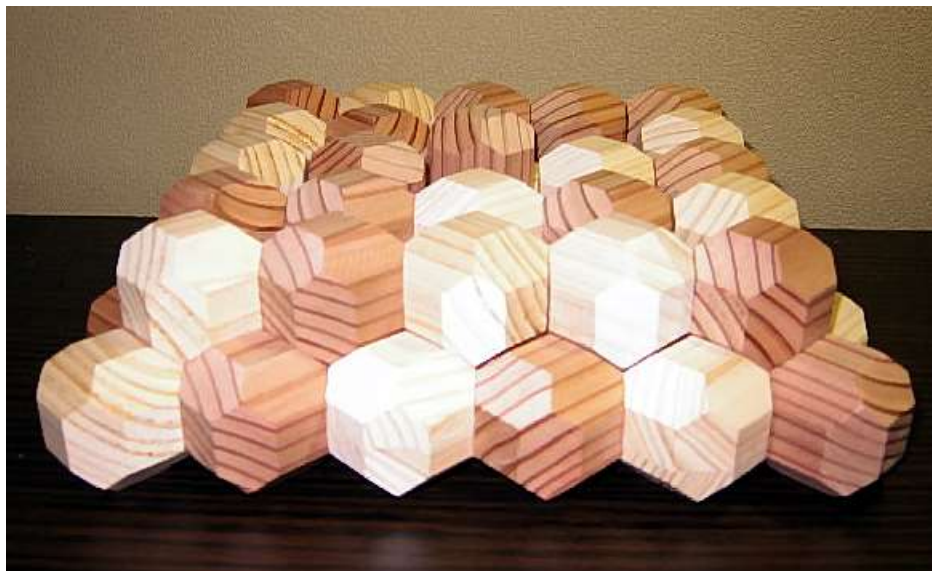


このように8×8の市松模様に見えるのだが、私には難しくギブアップして解答を見た。どうやら、解はひとつしかないらしい。

さて、こんどは切稜立方体ならではの立体パズルである。

全部で64個からなるピースを使って、6×6、5×5の二段ピラミッド（合計61個分）のなかに、ひとつのピースを除いてすべて収めて欲しい。

完成形は写真のとおり。



かなり難しいのではないかと思いますので、切稜立方体パズル最上級編と名づけます。腕に覚えのあるかたは是非挑戦してみてください。ご希望のかたはメールでお申し込みください。

積み木インテリアギャラリーいたち丸

中川宏

hiro-4@do6.enjoy.ne.jp

●●●●○○
○○●W○○
●○W●●●
●○○●○○
●◎◎○○○
●●◎◎○○

●●●W○
●●W ○
○W ●○
○●●●○
○○○●○